

『楽しい&エコ』なくらし、いっしょにはじめましょ♪



季刊

えこびと

第12号  
2014年4月

そろそろ緑のカーテンの準備を始めたいですね。

### 特集

2013年度の eco-T 講演会概要

エコットフォーラム & 未来へのエコットーク

エコメンみ〜つけた♪ (西村新さん)

とよたのまちねた紹介 (リユース工房/とよたまち博)

主な活動 (2013年12月~14年3月)

活動レポート

会員突撃インタビュー (後藤美代子さん)

お知らせ

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会 (エコライフとよた) の実現を目指す  
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています

## 豊田市環境学習施設 eco-T (エコット) 講演会概要 エコットフォーラム & 未来へのエコットーク

### エコットフォーラム 2013

#### しらこまひとみ 白駒妃登美さん講演会



昨年12月に開催した「エコットフォーラム2013」。今回は、(株)ことほぎ代表の白駒妃登美さんに「歴史が教える日本人の生き方」と題して、講演会をお願いしました。普

段あまり eco-T に来られないけど、「歴史」というテーマを好きな男性が多く 122 名の参加がありました。

江戸や明治時代に生きた歴史上の人物のお話を中心に、その方々のエピソードから見えてくる日本人が従来持っている考え方や生き方を中心に、マイク1つで講演されている姿がとても印象的でした。講演内容をいくつかご紹介します。



- ◆「持続可能な社会」と聞くと地球温暖化などの「環境問題」と結びついてしまうが、教育、経済、人の心や生き方も持続可能性のポイントなのではと思い、今回の講演をお受けした。江戸時代は256年もの間1つの政権が安定して継続した社会。彼らの生き方や考え方は持続可能な社会を実現するための参考になる。
- ◆私は子どもの頃、江戸時代という時代劇の影響から「暗い」とか「怖い」といったイメージがあった。しかし、「奢侈(しゃし)禁止令」という贅沢を禁止するお触れが幕府から何度も出ていることに対して、学校の先生から私のイメージとは異なる解釈で授業が展開されたとき江戸時代に対するイメージが変わった。歴史という科目は暗記科目ではなく、史実に照ら

し合わせて庶民の暮らしをイメージし、自分なりの歴史観を持つことだと思えるようになった。

- ◆「四十八茶百鼠」、「鎖国制度」、「身分制度」などの史実から見える日本人の考え方は、与えられた環境を変えようとするのではなく、その環境を受け入れ、感謝し、その環境の中でお互い磨きあって輝きあって生きていくことではないかと気づいた。
- ◆徳川家康や正岡子規もまさに日本人らしい生き方をした先人。
- ◆江戸時代はエコ時代と言われるほど、江戸はパリやロンドンなどの世界の都市と比較できないほど、インフラや公衆衛生面などのハードの面で持続可能な社会だった。そして「もったい大事」、「尊異論(そんいろん)＝少数意見を尊ぶ」、「草主人従(そうしゅじんじゅう＝自然を尊重し、人は自然に従う)」という言葉や物を色々な形で利用し尽くす姿に代表されるように、心豊かで循環型社会の考え方が、江戸で暮らす人々には浸透していた。
- ◆江戸時代の商人は、町が栄えるために「無駄を省くこと」だけでなく、「共生」という価値観の元、お客さんや値段、また専門分野によってすみ分けを心掛けており、経済という視点からも循環型の社会であった。
- ◆江戸時代の子どもに対する教育も積極的で、識字率は世界1だった。そして、読み書きを通して論語や小学に触れることで、「人はいかにして生きるべきなのか」や「善く生きよう」という意欲を湧き立てる人間性や感性を育てることに力を入れ、真善美明治時代の礎となった。

## 未来へのエコトーク 2013

エコトークは、それぞれの分野の第一線で活動している講師をお招きし、先駆的な取り組みの内容や戦略、携わっている講師自身の思いなどについて、お聞きしています。



### 8月：橋本淳司さん（アクアスフィア代表）

- ◆「河川の保護」は、目に見える川（＝表流水）の保護活動をイメージする。様々なレベルで活発に行われているが、地下水も含めた「流域」単位で考えないといけない。
- ◆日本で「水問題」といえば、湧水やゲリラ豪雨がニュースになる。世界レベルでみると水は貴重なもの。日本の水は、世界に狙われている。
- ◆地下水の保護は、利用方法などを明記した条例はあるものの、国の法律はない。水リスクに対してあまりにも無防備である。
- ◆地下水を含めた流域を考えた場合、採水の問題ばかりでなく、涵養装置としての役割も担う。その代表格である森林や田んぼの保全も必要であり、流域内で FEW (Forest, Food, Energy, Water) を大切に活用する方法を模索する必要がある。



### 10月：小原玲さん（動物写真家）

- ◆私は報道カメラマンとして天安門事件など「人」を撮るカメラマンだった。ある時、アザラシの赤ちゃんを撮りに行くきっかけがあった。愛らしくて無垢な姿を無我夢中で撮影した。その時の写真がきっかけで、動物写真家としてのキャリアがスタートした。
- ◆10年以上にわたって、アザラシの赤ちゃんを追いかけてきた結果、出産・子育ての場所となる流氷が長いスパンで減少していることに気づいた。温暖化の影響は確実に現れている。
- ◆アザラシの赤ちゃんを見たときの大人と子どもとの反応がまったく違う。大人は撮影に必死。子どもは遊びを通して、そこにある景色を見ようとしている。

- ◆今後も地球は確実に暖かくなっていく。上昇を止めることは難しいが、上昇スピードをゆるやかにすることは生活を見直すことでできる。
- ◆私は里山のホタルやアザラシの赤ちゃんが「好き」。だから無理なく環境にやさしい生活を受け入れることができた。みなさんも「好き」な気持ちを大事にして、「好きなものを守るため」に、自分ができる生活をしてほしい。



### 2月：松田直子さん（株式会社 Hibana 代表）

- ◆私は京町屋に住んでいる。京町屋は隙間風もすごくて冬はとても寒かった。ところが、ペレットストーブを導入した結果、過ごせないほどの寒さはなくなった。またペレットストーブを使っている料理などの楽しみも増えた。
- ◆（株）Hibana は、森林バイオマスの良さを広め、火のある暮らしを提案し実現していくこと、地域の資源を地域で利用して循環型の社会を作ることを目指している会社で、木に関わる仕事なら何でもやる会社。
- ◆食材は国産にこだわる方が多い。でも、エネルギーを国産にこだわる方は少ない。エネルギー自給率を上げると森はよくなり地域の雇用にもつながる。
- ◆森林バイオマスは、排出する CO<sub>2</sub> と吸収する CO<sub>2</sub> が同じ（カーボンニュートラル）で温暖化に影響を与えない。日本国民みんながペレットストーブを利用しても、山ははげ山にならない。ペレットストーブは化石燃料に比べて燃焼効率も良く、最近のものは 80%以上。
- ◆最近、本物の火を見たことのない子ども、火を青いと思っている子どもも多い。また青年でもマッチやライターがつけられないなど、「火育」をしなければいけない時代になってきた。  
(水野雄介)

## フリーペーパー「耕Life」を 発行する西村新さん

### エコメンみ〜つけた♪

#### Q ご自身のエコライフは

地産地消かな。農家に育ったので田舎が好きですね。農にかかわる若い人たちの輪を知って、食生活が豊かになった感じです。

#### Q 「耕Life」はやさしい色使いの冊子ですね

これは地域に根ざした食や農にかかわる人の輪やイベント情報を発信しているものです。編集・発行しているのがデザイン事務所「こいけやクリエイト」で、2012年10月秋号から3,000部で始めました。食や農をテーマとするフリーペーパーってまだなかったせいか好評で、次の7号から8,000部に増刷する予定です。地元密着でと考えて始めたので、市内の置いてくださる所は手渡しをとスタッフが車で届けています。今は近隣市町や名古屋市にも行きます。

きっかけは、旭地区での農業体験に家族で出かけてご縁ができ、若者の農業サークルや農山村交流を手がける団体と知り合うようになって、さまざまに取り組みをする人たちを知ってもらってフリーペーパーを作ろうと、事務所のスタッフと話がまとまりました。「デザインでよりよく人と人をつなぎたい」その気持ちを込めて、オレンジ色のつなぎをいつも着ています。

#### Q ご家族のこと教えてください

Webデザインの集まりで知り合った妻は6歳年下です。九州・宮崎の神話の里として知られる高千穂の出身です。子どもは長女3歳と最近生まれた次女とで4人家族です。母屋の方に父と母が住んでいます。小さい時から祖父母の働く畑で友だちと遊んだり絵を描いたりして育ったので、農業はいつも身近でした。大学はデザイン科に進みましたが、山の中のキャンパスだし都会志向はなかったです。趣味は家族で出かけること。取材で農業イベント情報がたくさん入るので、いろいろ参加したいですね。

#### Q これから何か楽しい企画ありますか

事務所「こいけやクリエイト」では、映画上映会を考えています。産業文化センター小ホールで「神さまの約束」。詳しいことは「耕Life」春号でお知らせしますよ。



耕Life春号(2014年3月発行)  
配布場所は耕Lifeホームページをご覧ください  
[www.kou-life.com](http://www.kou-life.com)

こいけやクリエイト主催  
とよたワンコイン映画会

#### 「かみさまのやくそく」 ～胎内記憶を語る子どもたち～

胎内記憶と子育ての実践、インナーチャイルドをテーマにしたドキュメンタリー映画

【日時】2014年5月10日(土)  
14:00～上映(114分)

【会場】豊田産業文化センター  
小ホール(小坂本町)

【料金】500円/人(チケット制)

【定員】240名(先着順)

【問合せ】こいけやクリエイト  
[koikeya-create.com](http://koikeya-create.com)

お訪ねしたのはふたり目のお子さんが先週生まれたという日でした。37歳とお若いのにとても優しいおだやかな表情の西村さん。それはいいご家族に囲まれているから？それとも地元産の豊かな食生活のせい？

(エコメン取材チーム 長嶋一枝、赤坂洋子)

# とよたのマチねた

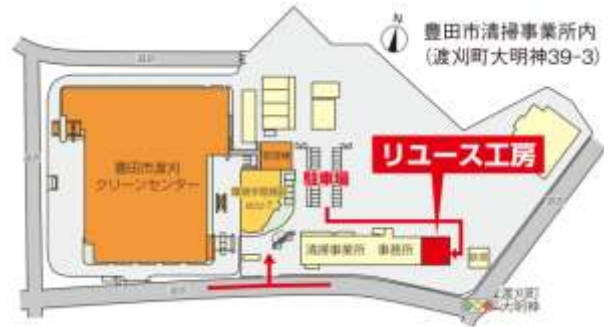
## まだまだ使える家具を捨てるのはもったいない！

回収を待つ粗大ごみの中に、まだまだ使えそうな家具ってありますよね。そんなもったいない家具が、欲しい人のところで再び使われる、エコな仕組みが始まっています。



渡刈クリーンセンターの清掃事務所内にある、粗大ごみの再生施設「リユース工房」。まだ使えそうな中型家具が持ち込まれて、補修され、展示販売されるのです。欲しい人は入札をして、入手したものは個人搬出します。

いままで試行として運営されていましたが、この4月から本格稼働。月に40～50点補修され、入札は月に100件以上あるとか。ほとんど売り切れ、大人気だそうです。豊田市のホームページに入札できるにこれまでの入札結果が写真入りでアップされていますので一度アクセスしてみてくださいね。（ふなさん）



## 「まち博」に参加しました！（前回続き）

昨年10月～12月に行われた「とよたまちなか博覧会」には、21種類の参加体験型プログラムに1,281人の参加がありました。今年も芸術・音楽・食など「新しいまちの楽しみ方」を秋ごろ開催予定です。（まち博事務局）

### 本場中国のプロ点心師から学ぶ中華の点心



我が家で復習。ピールが美味しい！（横井純夫）

### 生芋を使ってこんにゃく作りにチャレンジ



つぶした生芋をひたすら練ること15分。しかもこの作業が2回。疲れた！！



# とよたエコ人プロジェクトの主な活動(2013年12月~14年3月)

## ●12/11 さんしゅうECO倶楽部視察見学会



## ●12/12, 2/12 こども園の見学対応



寿恵野こども園と今こども園の子もたちが来館。めぐり座とボイ STOP くんと一緒に、ごみについて学びました。

## ●12/14 先生向けプログラム説明会



豊田市環境政策課、豊田市自然観察の森、とよたエコフルタウンと協力して、学校への支援内容を紹介しました。

## ●12/21 まちエコ発見隊~大林編~



自分たちの住むまちをエコ目線で探検！  
大林商店街のエコな取り組みも教えていただきました。

## ●1/9 豊田市再生可能エネルギー推進条例勉強会

情報を読み込み、パブリックコメントを考えました。

## ●1/17, 18 豊田市環境基本計画勉強会



「なっとく、おとく」をキーワードに豊田市職員を講師にお招きしました。2日合わせて34名の参加がありました。

## ●1/18, 2/19 他県からの視察対応



鳥取と福岡から視察に。eco-Tの活動内容や共働、市民参画などについて紹介。一番の特徴はインタープリター！

●1/26 梅坪台地区 共働サロン体験会



交流館を核とした ESD の普及啓発事業の一環で、地域住民と交流館・豊田市職員で、「梅坪台地区をもっと楽しく住みやすくするためのアイデア」のネタを出し合いました。

●2/3 eco-T 市民会議



eco-T は「私たちがつくる私たちの学習施設」。今年度の成果と課題をみんなでふりかえり、知恵を出し合いました。

●2/4 おもちゃの交換会「かえっこバザール」



朝日丘交流館のひだまりサロンでの開催に協力。運営主体は地域の方々です。今後も積極的に、リユースイベントを地域に展開していきたいです。

●2/5 展示解説ボランティア育成講座修了



eco-T のインタープリターに今年も新しい仲間が増えました。8期生のみなさん。4月のデビューが楽しみです♪

●2/8 元城ファクトリーに出展



PTA 主催のイベントに出展。コンセプトは「体験型ワークショップを通して、ものづくりの楽しさとアイデア発想を学ぶ」。子どもたちのアイデアは多彩ですね。

●2/20 中山小1年生の見学対応



マークやイラストをヒントにごみの分別に挑戦！燃やすごみや資源のゆくえも学びました。低学年にも支援を広げていきたいです。

## 活動レポート

### ●レポート1 —————>

～深化し続ける展示を目指して～  
eco-Tの展示学習プログラムを更新中！

eco-Tの展示室には、楽しくエコを学べる展示学習プログラムがたくさんあります。特徴は、インタープリター（インプリ）との会話を通して、来館者に気づきを促し自分なりの答え（ライフスタイル）を探してもらうこと。「無駄な電気は消しなさい」と注意するのではなく、「どうして電気を消すのだろうか？」と考えてもらう、そんなプログラムを用意しています。

毎年、インプリと事務局が知恵を出し合ってブラッシュアップしています。今年度は、『スーパー・えこっと』、『かんきょうかみしばい』、『まぜればごみ分ければ資源』、『3R ってなあ〜んだ』の4つを更新中。ゲームと学習をセットにしたり、クイズやアイキャッチなどを考えたりと、楽しみながら学べる内容になっています。

eco-Tは「私たちがつくる私たちの学習施設」。展示学習プログラムの更新を自分たちで実施することは、その一環でもありますし、eco-Tの自慢の1つです。

新展示学習プログラムのお披露目は、5月1日（木）から。ゴールデンウィークはぜひ eco-Tにお越しください。エコポイントも付きますよ！



### ●レポート2 —————>

ジュニアインタープリター育成講座  
～スペシャルなピザへの道！～

小中学生を対象としたジュニアインタープリター育成講座。2013年度も11月から2月にかけて5回の連続講座を行いました。

今年のテーマとして「食」をとりあげ、自分の食べているものがどこで作られているかを考え、調べ、探して、食べてみよう取り組みました。12月には旧旭地区で農業を営む戸田友介さんをお願いして石釜ピザ作りを体験！鴨をしめて食べる！という貴重な体験もしました。

そんな経験も生かして、1月には生地からピザを作り家族と一緒に楽しく食べました♪お母さんからは「期待以上のおいしさ」と最上級のほめ言葉もいただきました。



活動発表の写真を選ぶ参加者



学んだことを活かしたオリジナルピザづくり



### ●レポート3

#### 豊田市、交流館と共働して ESDを普及する研修を行いました。

##### ▼研修一覧▼

- |     |                 |
|-----|-----------------|
| 研修1 | 豊田市職員向け（8月）     |
| 研修2 | 交流館長・主任主事向け（9月） |
| 研修3 | 交流館主任主事向け（12月）  |
| 研修4 | 交流館利用者向け（1月）    |

研修1, 2の様子は前号をご覧ください。

交流館利用者向け研修は、梅坪台交流館としました。浄水駅前再開発で、小中学校と交流館が新設され、地域が分割されます。まちづくりについて話し合うスキルが必要とされていました。

研修3, 4は一連のものとして、まちづくりについて楽しく話し合うスキルを学ぶ研修と、まちづくり共働サロン体験会実践研修を行いました。

サロンを成功させるには、「笑顔と拍手」が大切。そして、さらに大切なのは、会場の雰囲気づくり（P7写真参照）。

研修3では、会議ファシリテーター普及協会（MFA）代表の釘山健一さんを講師に招き、まちづくりの極意やサロンのルール、補助ファシリの役割、準備内容について学びました。

そして、研修4では、釘山さんとMFA副代表小野寺郷子さんを進行役に、交流館職員有志がグループの補助ファシリテーター役に「既成概念に捉われずに『もっと楽しく住みやすくするための楽しいアイデアを出そう』と、意見を付せん書き出し、グループで共有し、文章にして発表しました。投票の結果、「地域のつながりを深めるためのボラポイントカードをつくる」が一位に。

参加者からは「こんな楽しい話し合いは初めて」という声も聞かれました。意見は「アイデアのネタ集」としてまとめ、今後のまちづくりに活かされることでしょう。

一連の取り組みは、刈谷市で開催された「社会教育活性化フォーラム(2/20)」で報告しました。

### ●レポート4

#### とよたこどもエコクラブ 交流発表会

毎年恒例のこどもエコクラブ交流発表会を2月15日（土）に開催しました。

今年は4団体が発表。

はじめて発表をしてくれた西広瀬小学校の取り組みを少し紹介します。学校の隣にあるまったく手入れもれず放置されていた丸根山をピオトープへと生まれ変わらせました。木の伐採、運びだし、遊歩道や水田の整備を地域の方と一緒に取り組んだ結果、トンボやチョウチョ、ササユリも見られる生き物あふれる山になりました。発表では6年生のイケメン4人組が「山を守る」とのかっこいい決意表明もありました。



##### 〔発表団体〕

- ・寿恵野小ピオトープ部
- ・イオン豊田チアーズクラブ
- ・NPO 法人地球を守る子どもたちネットワーク
- ・西広瀬小学校

こどもエコクラブは、幼児（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。登録すると、活動に役立つツールやプログラムの提供が受けられます。全国に2,009クラブ、100,780人メンバーがいます（14年4月1日現在）。

家族、お友達、サークル、子ども会、学校など、いろんなグループで登録できます。

2014年度の登録募集も始まっています。

詳しくは、eco-T（電話 0565-26-8058）までお問い合わせください。

（とよたこどもエコクラブ事務局）



eco-T のインタープリター 1 期生として、設立当初から活動しています。「eco-T」という愛称を決定する場にも参加していました。

**Q. はじめに、趣味はなんですか？**

A. 昨年からペン習字を始めました。始めたばかりの万年筆は線を上手に書くことは大変でした。昨年、東京国立博物館で開催された文字の展示会を見に行きました。私は楷書を、文字の美しさや意味、時代背景などを想像しながら見ます。また展示会場には、商人や職人の暮らしが描かれている江戸時代の屏風がある一方で、室町時代の屏風には草原が一面に描かれたりしています。屏風ひとつとってもその時代の背景が読み取れて、とても面白いです。

**Q. 最近、心に響いたり感動したことは？**

A. エコットフォーラムが印象に残っています。昨年は自然災害が多かったように感じますが、被災された方々からは、昔からその地域で伝えられてきた災害に対する備えや経験が命を救ったというお話を聞きます。今の日本は、こういった伝承を伝えきれていないのかもしれないかもしれません。私たちの世代以降、グローバリズムの名のもとで海外に出ることが推奨され、家族や地域のつながりに対する意識が低くなったのかもしれない。時を経て今、世界が日本文化を称賛してくれています。改めて日本文化を見直そうという今回の講演会は、非常に考えさせられるものになりました。

また、フォーラムでもお話のあった東日本大震災ですが、平成 23 年 3 月 11 日は大学の後期試験の前日に起こりました。受験生の中には試験会場が被災地となり、現地でボランティアをしました。などのお話を聞いたことがあります。自分の子どもが同じく受験生だったこともあり、その話にすごく親近感が湧いたのを覚えています。

**Q. ほっと一息つける場所は？**

A. 図書館ですね。

**Q. eco-T やエコ人に対して一言お願いします。**

A. 設立当初の eco-T はすべてが「初めて」で、コミュニケーションが大事でした。当時は勉強に学びにとよく eco-T に足を運んでいました。共に学ぶ中で一体感や熱のようなものを感じつつ、チャレンジ精神を持って活動していました。私自身も eco-T の活動に夢中でした。

インタープリターの活動も、戸惑いや迷いを抱えながら「私たち流」を作ってきました。「気づきから行動へ」というコンセプトを、交流館のチラシで見かけたときは「どういうことなのかな？」と思いましたが、eco-T の活動を通して、共に学び合う中で答えを見つけられるように活動してきました。

ステップアップの研修も、インタープリターとして新しいことを学び、気づくことを大事にして、それを eco-T の来館者に伝えるようになるというなと思っていました。

それから、eco-T が目指す「私たちがつくる私たちの学習施設」の「私たち」に含まれている施設利用者の方々とも、eco-T のコンセプトやエコ活動に対する熱意・情熱を共有し合える場面など、一緒に過ごす場面を通してお互いに接点を持ち、エコライフをみんなで推進していけたら仲間が増えて楽しいと思います。

「熱意」や「情熱」といった言葉が何回も飛び出す、とっても「熱〜い」後藤さん。フォーラムのお話でも出てきた、得意なことを活かし合う「すみわけ」を eco-T でも活用して、「42 万人のエコライフとよた」の実現に向けて共働できると良いなあとおっしゃっていました。これまでの経緯を踏まえつつも、新しく一から作り上げていく…そんな両面からのアプローチが、これからの eco-T に必要なのかなと思いました。

(会員突撃チーム：岩月桂子・水野雄介)

### ■春のぶらコロモ

日時：4月1日（火）～6月29日（日）

場所：近代の産業とくらし発見館から豊田市中心市街地周辺

内容：地図を片手に拳母のまちの路地をめぐり旧跡等を散策、クイズに挑戦（ガイドはつきません）  
クイズ正解者にはオリジナルプレゼントがあります。

主催：豊田市近代の産業とくらし発見館

### ■ふれ愛フェスタ 2014

日時：5月25日（日） 10:00～16:00

場所：豊田市中心市街地一帯

内容：毎年恒例！まちなかが歩行者天国になる商店街イベント。  
toyota JAZZ square “Big Festival2014”と同時開催

主催：豊田市中心市街地まちなか宣伝会議



かえっこ  
パズルも  
登場するよ！

使わなくなったおもちゃや  
絵本を持ってきてね

### ■とよたエコフルタウン グランドオープン記念イベント

日時：4月26日（土）～29日（火）

場所：とよたエコフルタウン（元城町3丁目）

内容：新たに新築のスマートハウスを体験できるスマートハウスエリア、  
中山間地の自然や風景を再現したコンセプトガーデンエリア、植物工場などを増設。

主催：豊田市環境モデル都市推進課

### ■自然ふれあいフェスタ

日時：5月25日（日） 10:00～16:00

場所：豊田市自然観察の森ネイチャーセンター

### ■エコットフェスタ

日時：6月1日（日） 詳しくはHPで！

場所：豊田市環境学習施設 eco-T

#### リユース（不用）品大募集！

小さくなってしまった子ども服、使っていない  
食器などお持ちください！  
エコットフェスタで欲しい方にお譲りします。

【お持ちいただきたいもの】

- ①陶磁器製、ガラス製の食器
- ②子ども服（おおよそ140cmくらいまで）
- ③本（漫画本、週刊誌はのぞく）

【募集期間・場所】

5月1日（木）～5月30日（金）エコットへ

## エコ人からのお知らせ

### ●事務所スペースのシェア はじめます

エコ人の事務所は、ご縁があって豊田市駅前の好立地にあります。この場所をエコライフとよた（持続可能で豊かな豊田市）を目指す事業を行っている方にも使ってもらおうと事務所利用をはじめます。

利用方法は、エコ人会員が打合せや作業などに使う利用（会員サービス）と、個人・団体が事務所として使う場合（有料）を想定しています。事務所は留守にすることも多く、手探りの中で始めていきます。差し入れも歓迎です。温かいご支援をお待ちしています。

詳しくはホームページでお知らせします。

### ●今年度も無事に終了、そして新たに！

エコ人は、eco-Tの運営を市民の手で担おうと設立されたNPOです。2013年度も無事に運営を終えることができました。

インプリ、スタッフ、そしてeco-Tを利用・支援してくれる方々の支えにより、年間の来館者は、過去のピークを超えました！（^^）/

また、hibico（ひびこ）を代表とする環境学習WebやさんしゅうECO倶楽部、交流館を核にしたESD研修など新しい事業も実施することができました。そして、2014年4月からはeco-Tに加え、リユース工房の受付業務も始まります。

「市民が市民に伝える」輪が広がっています。

## 新規会員募集中！

『楽しい&エコ』なくらし、いっしょにはじめましょ♪

### 〔会員特典〕

- ・ほぼ季刊で「えこびと通信」をお届けします。
- ・会員メーリングリストに登録できます。講座やイベント、世の中のエコ情報が届きます（不規則）。
- ・講座やイベントに会員特典（参加費の割引など）を受けられることがあります。
- ・少人数の会議や作業などで事務所を利用できます。
- ・スタッフや理事に気軽に質問や相談ができます♪

\*入会方法については、お気軽にスタッフや理事、事務所にお問合せください。

## eco-T 退職のあいさつ

平成 17 年ごろだったと思いますが、市民参画を担当されていた市の職員に勧められ、市民参画メンバーへ。

8 年を振り返るといろいろな思い出がありますが、NPO 職員になってからは、常に会議の準備と進行をしていたなあと感じます（本当は参加する方が好きです）。それから、エコットフォーラム 2012 のゲストに辰巳渚さんをお呼びできたことはとても良い思い出です。また、eco-T では素敵な人生の先輩方（インプリさん♪）とたくさん出会えました。

あらゆる事に関心を持たれ、人や自然を大切に思い行動される姿をいつも見させていただきました。

これからも、後輩に勇気を与えていただけるようなよきお手本となっていていただくことを願っております。

そして、eco-T のさらなる躍進を応援しています。

本当にお世話になりました。（松浦貴子）



### 〔会費〕

正会員	10,000 円（議決権あり）	
賛助会員	一般	1,000 円/□
	学生	500 円/□
	非営利団体	3,000 円/□
	営利団体	10,000 円/□

\*エコ人の年度は 6 月～5 月です。

### 〔現在の会員数〕

正会員 26 人、賛助会員 44 人・2 団体

### 〔エコびと事務所 MAP〕



## 編集後記

桜が咲くころにお手元に届けようと計画しましたが、年度末のあわただしさで遅れてしまいました。そんな中、環境学習を促進させる豊田市オリジナルのガイドブック製作をモリコロ基金に申請したところ採択されたという通知をいただきました。これを機会に伝える人、伝える機会を増やし、環境学習を通じた、人づくり、地域づくりに弾みをつけたいと思います。

## 発行・編集 <sup>びと</sup> NPO 法人 とよたエコ人プロジェクト

〒471-0025 愛知県豊田市西町 1-88 カニックビル5階

TEL : 0565-50-5684 FAX : 0565-50-5568

メール : info@t-ecobito.jp

ホームページ : <http://t-ecobito.jimdo.com/>

最新情報はホームページへ

エコ人

検索